

ホームページへの掲載		
済	2月29日	掲載予定

岐阜県立山県高等学校

学 校 長 藤木 節子
学校住所 岐阜県山県市中洞44-1 電話 0581-52-1551

- 1 会議の名称 岐阜県立山県高等学校評議員会 (第2回)
- 2 会議の構成 委 員 乾 幸雄 (元富岡小校区青少年育成市民会議会長)
後藤 信幸 (地域住民代表)
鷺見 紫 (塾講師)
古田 雅通 (中洞自治会長)
吉田 安孝 ((有)吉田製作所取締役社長)
(委員名は五十音順)

学 校 側 澤田 寿秋 P T A会長
藤木 節子 校長
野田 光浩 教頭
川田 八重子 事務長
籠橋 数浩 教諭 (教務主任)
宇野 雅浩 教諭 (生徒指導主事)
小泉 淳 教諭 (進路指導主事)

- 3 会議の目的 岐阜県立山県高等学校の学校運営について、地域住民や有識者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進することを目標とする。
- 4 会議の開催 日 時 : 平成24年2月22日 (水) 9:30~12:00
場 所 : 山県高等学校 校長室
出席者 : 委員5人と学校側6人が出席
- 5 会議の概要 9:30 挨拶・日程説明
9:50 授業参観
10:40 平成23年度自己評価について報告 および学校評議員からの提言・感想

(1) 授業参観

参観授業

1・2年生 第2時限目の授業を参観

(2) 平成23年度自己評価について報告 および学校評議員からの提言・感想

*** 学習指導 ***

報告 今年度は、基礎学力定着のためのステップアップカリキュラム研究開発推進事業への取り組みを軸に、教材の検討、授業方法の研究を進めた。また、数学で習熟度別授業を開始、授業の予鈴の導入、進学補習などを行った。

- 意見 1 1クラスを2分割して実施している数学の授業を参観して、習熟度下位グループの方で、よく分かっているという印象を受けた。もう1つのグループは、その中でも学力差が見られた。
- 回答 1 学力の高い生徒には、 $+\alpha$ の教材を準備したい。
- 回答 2 来年は、2クラス4展開で進められるかを検討中。

意見 2 子どもが考え、活動する時間をもっと増やせないか。現状では講義が多い。子どもの学習量と質を高める教材開発をしてほしい。

意見 3 分かる人が分からない人に教えるとき、分かる人も考えている。教えることで考えさせるのも1つの方法である。

*** 生徒指導 ***

報告 全県的な傾向として、生徒の幼稚化が進んでいる。その中で、細かく、繰り返し、丁寧に指導を行い、問題行動が減少に転じた。人間関係を取りにくい生徒が増え、挨拶ができなくなってきているが、今、野球部が核になって挨拶活動を始めてる。個人用ロッカーを整備した。持ち物の自己管理ができるようになった。毎年、1から丁寧に教えることが必要。

意見 1 身だしなみについてはどうか。

回答 1 今年の1年生は、初めから力を入れた結果、ネクタイはきちんとできた。リボンは来年度、付けやすいものに変更することを検討中。

意見 2 今の子どもたちは、いつまでも未成熟だと思う。子どもには、何度裏切られても、教え続けていくことが大事。先生の言葉は心に残る。今、行動に現れなくても、いつか現れる。もう1つは、指導してほめるのが大事。

*** 進路指導 ***

報告 今年3月に重点を置いた。体験学習、就職指導員制度の活用、全職員による指導を行った。体験学習はどの学年でも充実し、来年も発展させたい。就職指導員制度は3年生に良い効果が出ている。面接や小論文の指導は全校体制で取り組めた。来年度は、放課後補習で就職対策講座を開講する計画である。

意見 1 今日の授業参観で、物理の授業では電気分野の基本を教えていた。暗算で計算できるようになる必要がある。

意見 2 今年、学校祭の1日目を参観した。震災のビデオはよく見ていた。文化系部の研究発表の時は落ち着きがなかった。まじめで一所懸命がかっこ悪いという風潮は無いようにしていかなばと考える。

*** 家庭・地域との連携 ***

報告 昨年の評議員会で指摘され、できるところから取り組んだ。保護者向け携帯メール配信を積極的に活用した。地域への情報発信として、新聞の折り込みチラシに学校紹介を入れた。生徒会新聞の発行も行った。地域行事へも積極的に参加した。生徒が指導者の一員として参加した。

山県高校は、山県市中洞地区の避難所になっており、山県市と協定を交わしている。災害時にすぐ対応できるよう、備蓄を進めている。岐阜地区で備蓄に取り組んでいるのは、現時点では本校だけである。

意見 1 授業に差し支えない限り、学校の開放に取り組んでほしい。サークル活動などで学校を使えるとありがたい。地域で英語教育の退職者を招いて英語サークルをつくって勉強会を開いている。そういう人を入れて地域とのふれあいの場をもつのもよいと思う。山県市では「学校コラボレーター」の制度がつくられた。ぜひ使ってほしい。

6 会議のまとめ

すぐにできることを取り入れ、学校の運営に生かしたい。今後も、外から見て、提言をお願いします。来年度もできるだけお越しいただき、生徒を見ていただきたい。